

(団体紹介)

かながわ野生動物サポートネットワーク

様々な原因で人間の手の中に入ってくる野生動物を入り口に、自然環境の保全に向け活動をしています。2018 年から調査協力、オオミズナギドリのレスキュー、ネコの衛生管理、捕獲などで御蔵島のオオミズナギドリ保全活動に協力しています。

(葉山 久世) 本会の HP はありません

御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会

御蔵島で繁殖するオオミズナギドリの保護活動を行っています。長年ドルフィンスイムに通ううち、ネコがこの海鳥に大きなインパクトを与えていることに気づき、活動を始めました。森林にすむネコの捕獲、輸送、馴化、里親への譲渡を保護団体やネコカフェ、動物病院の協力を得ながら行っています。また、11 月の巣立ち時期には、道路や人工物に迷入したヒナのレスキュー、研究者への協力も行っています。一般の方向けのトークイベント、フェイスブックなどでも普及啓発に努めています。

(草地 ゆき)



御蔵島のオオミズナギドリを守りたい有志の会

HP <http://oomizunagidori.jimdo.com>

ツイッター 森ネコチャンネル <https://twitter.com/Omizunagidori1>

フェイスブック 御蔵島のオオミズナギドリを守りたい

<https://www.facebook.com/SaveTheOmizunagidori/>

(展示内容)

オオミズナギドリは北太平洋を代表する海鳥で、伊豆諸島の御蔵島は世界一の繁殖地でした（1978 年：約 175 万～350 万羽）。近年はノネコの影響で激減（2016 年：約 11 万羽）、2020 年現在はさらに減少していると推察されます。最新の研究で、御蔵島でノネコが捕殺するオオミズナギドリは 1 年間に 313 羽と推計されており、危機的な状況が続いています。



御蔵島でのネコの捕獲作業

この原因を作ったのは人で、ネコに落ち度はありません。内地の皆さんにもこの現状を知っていただき、ネコの飼い主や預かりボランティアになる等でご協力を頂けたらと思います。オオミズナギドリを守りたい有志の会が捕獲馴致している御蔵島出身の「森ネコ」たちの多くは、人との接触経験が全くないにもかかわらず、数週間から数か月で人に馴れています。島民の方、専門家と連携し、効果的に森からネコを出し、オオミズナギドリが安心して子育てできる御蔵島を目指します。